

内藤参考人提出資料

2005年10月5日
社会保障審議会医療部会

有床診療所の 方向性と展望

全国有床診療所連絡協議会 会長
内藤哲夫

内容

1. 地域医療の中での役割
2. 現状
3. 課題
4. 将来に向けた展望
5. 制度・基準に関する要望

1. 地域医療の中での役割

- 身近なかかりつけ医機能
 - 他の医療機関との連携の中心的存在
 - 専門医療も提供
 - 産婦人科 分娩: 全国の分娩数の47%
 - 外科手術、眼科など

- 住民へ安心感を提供
 - 病院からの受け皿機能
 - 高齢化社会に向けた多様なメニュー
 - 在宅医療、介護サービス、終末期医療
 - 内科 年間の訪問診療: 平均216件 (平成17年実態調査)

3

1. 地域医療の中での役割

■ 多機能

- 専門医療
- 受け皿(亜急性期)
- 慢性期
- 終末期

全診療科

病期	構成割合	患者数	総数
急性期	22.8%	2.8人	12.1人
亜急性期	13.1%	1.6人	
慢性期	52.8%	6.4人	
終末期	3.2%	0.4人	
不明回答	8.2%	1.0人	

平成17年全国有床診療所実態調査

4

2. 現状(1)

■ 医療法13条

診療所の管理者は、診療上やむを得ない事情がある場合を除いては、同一の患者を48時間を超えて入院させることのないように努めなければならない。ただし、療養病床に入院している患者については、この限りではない。

5

2. 現状(1)

■ 48時間規制は現実から乖離し、有名無実化

■ 退院患者の平均在院日数:16.6日(患者調査 厚生労働省)

■ 一般病床の平均在院日数:2日以下は3%

(日医総研 WP No.96 有床診療所の実態調査)

6

2. 現状(1)

■ 歴史的背景

- 1948(昭23年) 医療法成立 48時間規制
- 1970～ 病院との格差拡大により施設数減少
- 1998 第三次医療法改正で療養型病床群への認可
- 2004 「診療上やむを得ない事情」の解釈に対する
厚生労働省からの通知

7

2. 現状(1)

厚生労働省医政局総務課長 様

平成16年2月19日

横浜市衛生局長

診療所における患者の入院について (疑義照会)

医療法第13条において、診療所の管理者(医師)は入院させている患者を48時以内に退院させるように努めるべきと規定されています。しかし、医師が、患者の病状等を十分に検討した結果、当該患者が当該診療所において引き続き治療を受けることが適切であると判断した場合は、同条の「診療上やむを得ない事情がある場合」に該当すると考えられますが、このことについて御教示願います。

横浜市衛生局長 殿

平成16年2月25日

厚生労働省医政局総務課長

診療所における患者の入院について (回答)

平成16年2月19日付け衛地医第383号にて照会のあった標記の件については、貴見のとおりと史料する。

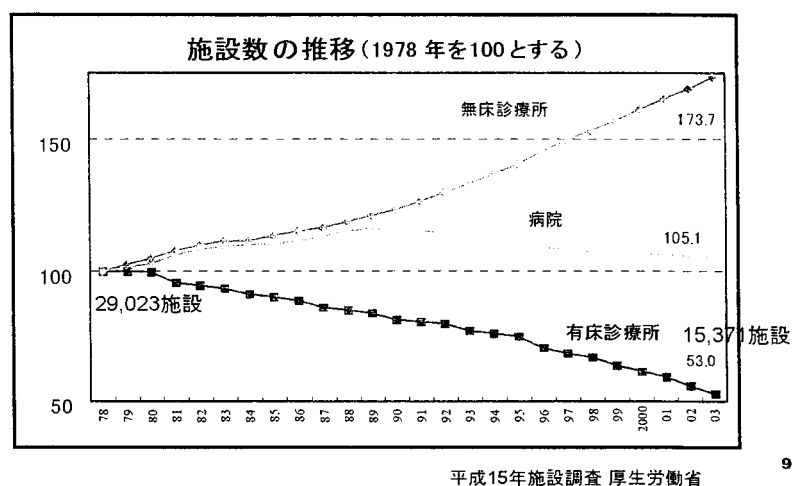
【厚生労働省医政局総務課長通知】 (平成16年2月25日医政総発第0225001号)

診療所の医師が、患者の病状等を十分に検討した結果、当該患者が当該診療所において引き続き治療を受けることが適切であると判断した場合は、医療法第13条の「診療上やむを得ない事情がある場合」に該当する、とのことである。

8

2. 現状(2)

施設数の減少



1. 現状(2)

無床化

□ 2002-03年の間に731施設が無床化
(全数の4.5%)

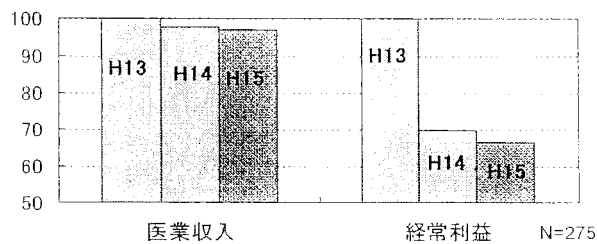
□ 無床化の理由(平成17年日医・有床診協議会調査)

1. 人件費比率が高い(46%) (複数回答)
2. 入院患者の減少(41%)
3. 精神的・体力的な限界(35%)
4. 人材確保が困難(35%)

2. 課題(1)

医業収入、経常利益ともに減少傾向

(H13年を100とした場合) (法人)



平成17年全国有床診療所実態調査

11

3. 課題(2)

診療報酬上の評価の低さ

1. 看護職員
2. 医師

診療報酬の病院との比較 一入院基本料

単位:点

区分		7日以内	~14日	~30日	~90日	~179日	180日~
病院	入院基本料5	1,223	978	783	733		
有床診療所	I群1(10名以上)	712	677	574	536	489	
	I群2(5名以上)	679	644	541	503	456	
	I群3(1名以上)	638	603	500	462	415	
	II群3(1名以上)	603	568	465	427	380	
	II群4(規定なし)	568	533	430	392	345	

12

3. 課題(2)

1. 看護職員の配置は充実させている

調査結果からみた看護配置の状況 (常勤換算)

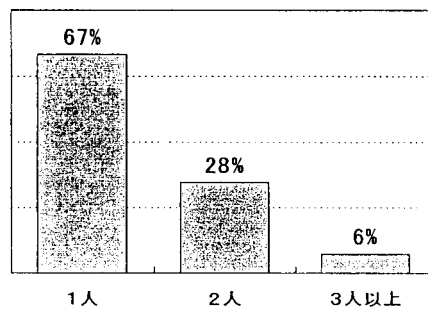
入院基本料区分	看護師・准看護師数	入院患者数	外来患者数
I 群1 (n=211)	14.5人	13.2人	109.7人
I 群2 (n=382)	8.1人	12.2人	89.2人
I 群3 (n=190)	5.7人	10.5人	60.4人
II 群3 (n=30)	4.7人	8.6人	53.1人
II 群4 (n=44)	4.3人	4.6人	64.8人
全数 (n=857)	8.8人	11.5人	85.1人

平成17年全国有床診療所実態調査

13

3. 課題(2)

2. 医師数は1人医師が約7割にのぼる

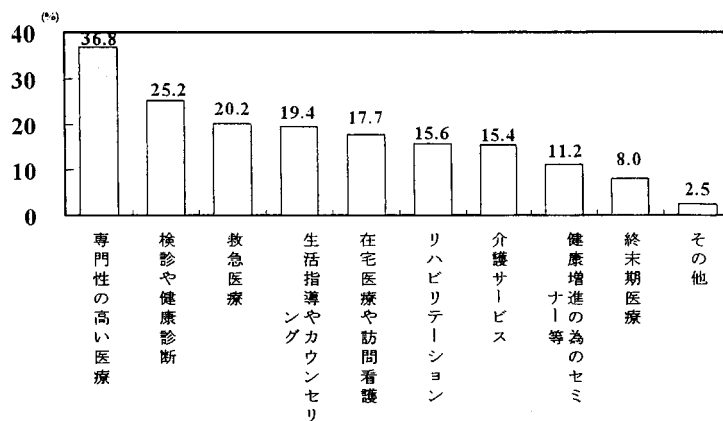


平成17年全国有床診療所実態調査

14

4. 将来に向けた展望

□ 住民はさまざまなサービスを求めている



日医総研 WP No.96 有床診療所の実態調査－将来戦略に向けての第一ステップ

15

4. 将来に向けた展望

□ 有床診での医療安全の取り組みを強化

緊急時に対応する協力医の検討
連携によるネットワークの構築

16

5. 制度・基準・診療報酬に関する要望

- ①制度 48時間規制(医療法13条)の撤廃
- ②基準 基準病床への算入は不可
 - 新規参入を妨げ、地域医療の向上を阻害
 - 地域性への配慮
 - 過疎地など
- ③診療報酬 人員配置に見合った評価が必要